

# 何が？彼を死に追いやったのか！

組合員のみなさん！職場の仲間にみなさん！今年一月に米原駅の若き社員が自らの命を絶つという、痛ましい事態がおきました。

その直接的な背後要因として、米原駅では「一時間前出勤」が強要されていました。彼は9時出勤のところ8時40分頃に出勤しました。そして管理者から「出勤遅延未遂」をとがめられ、時系列報告書の提出を命令されました。しかし書けない彼に、管理者は「休日にも職場に出てきて書くよう」に迫りました。そして、その日から彼は失踪し、自らの命を絶ったのです。

「出勤遅延未遂」とは何か？出勤遅延を防止するための管理者の自己保身ではないのか？遅刻でも何でもない！何故？犯罪者のように責められなければならないのか？こんなことで若き社員の命が奪われていいのでしょうか？

私たちの駅でも出勤遅延が問題にされています。そして新入社員には朝起床したら、当直に電話を入れることなどが命令され「夜更かしはするな」などと、私生活にまで管理者が口出しをしています。

しかし会社は社員にたいして、QC活動や業務研究会はもとより、〇〇プロジェクトだとか、本来業務以外の行動に駆り立て、疲労回復の時間を奪っています。

これまで何人の社員が自らの命を絶ったのでしょうか？何人の社員が会社を去ったのでしょうか？そして精神的病に追いつめられた社員は何人いるのでしょうか？

東京交番車両所では管理者が、出勤の遅かった社員に「バカ野郎！お前なんか会社をやめてしまえ」と暴言をはいています。

ところでこんな異常な事態のなかで組合は何をやっているのでしょうか？

「出勤遅延未遂？」や「起床電話」や「30分前出勤？1時間前出勤？」も出勤遅延防止策として組合も会社と一緒にあって奨励する。そのためユニオン役員は「遅刻は個人の責任」と組合員を責める。組合員は誰にも相談できず、一人で悩み追いつめられる。

「もういいかげんにしろ！」と声を出しましょう！

管理者による勤務以外の会社行事への強要や、私生活への介入は拒否しましょう！そして会社の労務管理の片棒を担ぐ組合役員にはNOを突き付けましょう！